ねんきんだより Pensions News

保険料免除の申請は毎年必要です

経済的な理由などで国民年金保険料を納付することが困難な場合は、申請により保険料の納付が免除・猶予となる制度があります。

保険料の免除や猶予を受けず、保険料を納めていない状態で、万一、障害や死亡といった不慮の事態が発生すると、障害基礎年金・遺族基礎年金が受けられない場合があります。

令和４年度の免除などを７月１日(金)から受け付けます。審査対象期間は、令和４年７月から令和５年６月までです。なお、保険料免除・納付猶予が承認される期間は、保険料の納付期限から２年を経過していない期間について、さかのぼって免除などを申請できます。また、申請は原則として毎年度必要です。ただし、全額免除および納付猶予の承認を受けたかたは、継続申請することができます

今まで全額免除または納付猶予の承認を受けており、継続申請をしていないかたは、６月で承認期間が切れています。引き続き免除等を希望する場合には申請が必要です。

申請するかたは、必ず令和３年中の所得の申告またはご家族の扶養申告を済ませてください。また配偶者および世帯主の申告も済ませてください。

問合せ　太田年金事務所 ☎49－3716

消費トラブルにご注意！

実在する組織をかたったフィッシングメールに注意

【事例】

大手カード会社から「このところ不正利用の被害事例が多いので、ご自身の利用情報を確認してください」とメールが届いたので、メールに記載されていたURLをクリックし、そのサイト上でカード番号などを入力した。

その後、カード会社から「通信販売で不正な利用が確認された」と連絡が入り、身に覚えのない約５万円のカード利用が判明した。(60歳代 男性)

【ひとこと助言】

通販サイト、クレジットカード会社、フリマサービス運営事業者、携帯電話会社など、実在する組織をかたり、アカウント・ID、パスワードや暗証番号、クレジットカード番号などの情報を詐取する手口（フィッシング）を利用した被害が多く発生しています。メールに記載されたURLには安易にアクセスせず、まずは事業者の正規サイトでフィッシングに関する情報がないか確認しましょう。また、日ごろから公式アプリを利用したり、事業者サイトをブックマーク登録しておくなど、すぐに情報を得られるようにしておきましょう。万一、誤ってメール記載のURLにアクセスしてしまっても、個人情報などは絶対に入力してはいけません。

困ったときは、すぐに消費生活センターにご相談ください。

相談は消費生活センターまで　☎82－7830（ナヤミナシ）

休日当番医

期日	内科系		外科系	耳鼻科
７月３日（日）	蜂谷病院 63－0888	星野こどもクリニック※ 70－7200	川島脳神経外科医院 75－5511	川田耳鼻咽喉科医院 72－3314
７月10日（日）	後藤内科医院 72－0134	多々良診療所 72－3060	館林市夜間急病診療所 73－2313	－
７月17日（日）	福田ペインクリニック 84－1233	金丸内科医院 88－3200	新橋病院 75－3011	川村耳鼻咽喉科医院 72－1337
７月18日（祝）	ましも内科・胃腸科 62－2025	小西医院 86－2261	小曽根整形外科 72－7707	－
７月24日（日）	高橋クリニック 75－7772	神尾内科医院 75－1288	澤田皮膚外科 70－7703	－
７月31日（日）	寺内医院 88－1511	真中医院 72－1630	慶友整形外科病院 49－9000	－
８月７日（日）	黛泌尿器科内科医院 63－7800	うえの医院 72－3330	館林医院 74－2112	板倉耳鼻咽喉科クリニック 80－4333
８月11日（祝）	ハートクリニック 71－8810	藤原医院 88－7797	堀井乳腺外科クリニック 55－2100	－

歯科

館林邑楽歯科保健医療センター
73－8818
午前９時～正午

◆緊急　公立館林厚生病院　☎72－3140（内科系・外科系）
◆コロナに関すること　群馬県受診・相談センター
☎0570－082－820（24時間受付）

●診療時間は、午前９時～午後５時（ただし、耳鼻科の診療時間は、午前９時～午後１時）
●内科系の※は、小児科のみとなります。　●受診前に必ず医療機関に電話で確認してください。
●救急テレホンサービス　☎73－5699：受診可能な病院を紹介しています。

Face フェイス

グライダー国内初の快挙を達成

広大な地上を見下ろす風切り音だけの静寂の世界

田上研之さん

たがみ　けんし　53歳
長崎県出身　川口市在住

板倉滑空場、日本グライダークラブでは、体験搭乗をすることができます。また、ふるさと納税の返礼品に利用券があります。
運航日程など詳しくはホームページをご覧ください
URL http://www.glider.jp/

グライダーとの出会い

福岡の大学に入学した田上さん。大学のグライダー部に勧誘されたことがきっかけで、そこからすっかりはまってしまい、約30年飛行を続けています。

日本グライダークラブに所属してから20年、板倉町のグライダー滑空場を本拠地として、日本各地の空を飛んできたそうです。

国内初の1,000㎞記章を獲得

田上さんが国際航空連盟（ＦＡＩ）から公式に認定された、国内初の国際滑空記章1,000㎞章を獲得したのは、2021年５月10日。早朝に那須塩原市をスタートし、岩手県までを２往復、約10時間かけて1,084.4㎞のフライトを達成しました。

日本では条件が整うことが少なく、この記録を達成するのはかなり困難なもので、田上さん自身も2013年から７回目の挑戦でようやく達成されたということです。

グライダーの魅力と感動体験

「板倉町には大変お世話になっています。東京からのアクセスもよく、自然も豊かですごく素敵なところです。滑空場は大変広いので、草刈りなどの維持管理は大変ですが、広々とした風景をグライダーの風切り音だけの世界で眺めるのは、ぜひ多くのかたに体験して欲しいなと思います」

日本各地をフライトしている田上さんですが、海外でのフライト経験もあり、フランス、イタリア、スイスなどヨーロッパの広範囲に及ぶヨーロッパアルプスのマッターホルン山頂付近を飛行したときの感動は忘れられないということでした。

長く楽しんでいきたい

普段はスマートフォンメーカーのエンジニアとしてお仕事をされていて、グライダーのほかにも、モータースポーツやキャンプなどのアウトドアも好きだという田上さんに、今後の目標を聞いてみると、「これといった目標というよりは、長く楽しんでいきたいと考えています」と、自然派らしいお答えをいただきました。

これからも、グライダーとともに板倉町を満喫してください。

レポーター
広報編集委員
鈴木新一（すずき しんいち）